

平成23年2月3日

社団法人日本経済団体連合会

会長 米倉 弘昌 殿

社団法人国立大学協会

教育・研究委員会 委員長

濱口 道成

日本経済団体連合会表明「新卒者の採用選考活動の在り方について」を受けて

平成23年1月12日付けで貴日本経済団体連合会が表明された「新卒者の採用選考活動の在り方について」は、改善が強く求められている就職活動の早期化・長期化の改善に向けた着実な一歩であると考えています。

就職情報会社のサイトにエントリーし、それと同時に各企業の説明会が開催される現在の状況は、学生にとって実質的な就職活動の開始となっています。その早期化・長期化が学業に支障をきたす結果となっていることに鑑み、国立大学協会は従前から採用選考活動の時期の見直しを求めているところです。

今回表明された改善策による広報活動の開始時期は、大学の授業が行われており学業に支障が生じることも考えられることから、是非とも学生の立場に立った採用選考活動等事態の更なる改善に向けた貴日本経済団体連合会の検討に期待いたします。

国立大学は今後も、優れた教育研究の推進を通じて、我が国の将来を担う人材の育成に努力してまいります。また、学生の学習環境確保の観点から、学内セミナーの実施時期や、その内容について、見直しを図るとともに、将来の目標を描き、広い視野と長期的な視点を持つことを促進するキャリア教育に努めていく所存です。

この努力が報われるためには、貴日本経済団体連合会だけでなく、他の団体や業種においても就職活動の早期化・長期化の改善に向けた取組が必須不可欠であります。今後も力強いご支援と、学生の立場に配慮した取組をお願い申し上げます。